



北九州市
ホームページ

主な内容

- 特集 1~2
口腔ケア
- トピックス 3~4
●東アジア文化都市北九州2020▶21
閉幕式典の観覧者を募集します
●北九州市の
「新型コロナワクチン接種」情報 など
- すこやかハート北九州 5
- 情報ステーション 6~11
*最終ページは人口データと若松区の情報

こくう
特集 口腔ケア

「お口」の健康＝「体」の健康
元気に生活するために歯と口のケアについて考えよう!

歯と口には、「食べる」「話す」「笑う」など生活する上で大切な役割があります。むし歯や歯周病のない健康な歯があることは、元気な体を維持することにつながります。



知ってる?



北九州市は、
むし歯のない小・中学生の
割合が政令市で最下位!

北九州市の
小・中学生の2人に
1人はむし歯

小学生は5年連続、
[2015~2019年]
中学生は3年連続
[2017~2019年]
最下位

■20政令市における「むし歯のない」小・中学生の割合
(2019年度)

	小学生	中学生
1位 新潟市	94.4%	1位 京都市 79.8%
2位 横浜市	89.5%	2位 新潟市 78.9%
⋮		⋮
20位 北九州市	44.5%	20位 北九州市 55.8%

出典:指定都市学校保健協議会研究資料をもとに作成

知ってる?

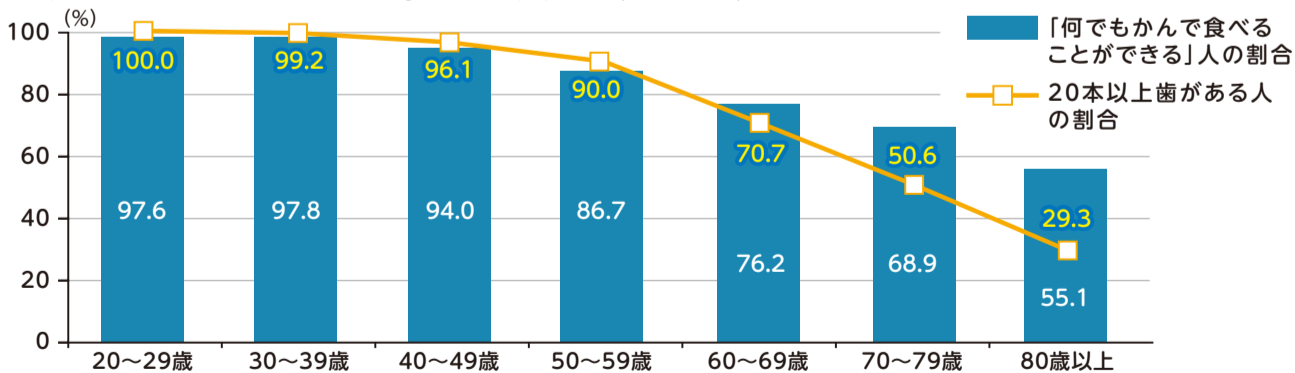


歯が20本以上あれば何でもかんで食べられる!

「8020(ハチマルニイマル)運動」をご存知ですか?平成元年(1989年)に始まった「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。ちなみに「20本」は、自分の歯で食事が楽しめる目安となる本数。平成29年(2017年)の調査では、「何でもかんで食べることができる人の割合」と「20本以上歯がある人の割合」は、60歳代から大きく減少しています。

※歯を失っても、義歯(入れ歯など)により、ある程度かむ力の回復は可能です。義歯でもきちんとかめている人は健康状態が高いという調査結果もあります。

■「何でもかんで食べることができる」人と歯の保有状況(20歳以上)



出典:厚生労働省「平成29年(2017年)国民健康・栄養報告」

2ページでは、歯と口のケアについて詳しく紹介します